



## ナンニン 広西チワン族自治区・南寧市

# 農業排水による汚染は 世界共通の難題

世界銀行タスク・チーム・リーダー 鎌田卓也

**WATCH FIRE**

【開発途上国の明日】



**こ**れは南寧市の中心を東西に貫流する邕江である。利根川よりも大きいこの川は隣の広東省で珠江となり香港に至る。

手前の茶褐色のよどみは製紙工場の排水だ。原料である竹の色素は残っているが、工場内で浄化処理されている。同市ではこの10年の急速な経済発展に伴い、工業排水の規制と生活汚水の処理に力を入れてきた。排水を大量に放出する製紙工場やサトウキビ精製場は特に厳しく監視されているという。

しかし、邕江の汚染はいまだに進んでいる。近郊の農地から流入する肥料や農薬、家畜の糞尿により、赤潮が起きたり、藻が異常繁殖したりするのだ。同市は最近その対策づくりに乗り出した。

農業による河川の水質汚染を食い止めるのは大変難しい。広範な流域で、一軒ずつ農家の協力を得て施肥の方法などを変えるには、膨大な手間と時間がかかるのだ。途上国はもちろんのこと、工業排水規制が行き届き、下水処理場を完備した日米欧の先進国でもこの最後の難問には手を焼いている。米国東部のチェサピーク湾や日本の霞ヶ浦の事例は専門家の間でよく知られている。

同市は環境保護優秀都市として、国内でたびたび褒賞されている。この難題の解決にも、貢献を期待したい。

(写真も筆者) ㊞